

第87回 房総 鋸山ハイキング

大河原 敏生

(有)大河原商店 (第10支部)

6月6日例年より二日早い梅雨入り宣言が出て、なかなか重苦しい季節を迎えました。理事会の折、雨の具合では予定を変更して、保田漁協直営の番屋へ直行の場合ありとのことで淡い期待のもと参加しました。朝10時10分JR内房線 浜金谷駅集合しました。参加者は、幹事の磯部さん、石井さん、乾さん、若林さん、大井さん、高橋さん 山本前事務局長、磯川事務局長と私で9名のご参加で期待むなしく天候は曇り、やはり登ります。

数十年前、ドライブで来たことがあり高尾山くらいのイメージで参加しましたが、ロープウエーからのコースとは別世界で、木々豊かな千葉県内で12番目の高さの329.5mの「房総の低名山」です。山全体が堆積岩の凝灰岩でできていて江戸時代より金谷石として知られ建材に利用されていたそうです。

駅から舗装道路を30分で登山道入口につきました。ここからは、2ルートがあります。今回は「車力道コース」を登ります。車力道とは石切り場から切り出した石を荷車に乗せて降りた道で石がひいてあり雨の日は滑りやすいコースです。

「石切り場分岐」を過ぎて山をそのまま削って作られた最後の急登の「絶壁階段」を登り切り「地球が丸く見える展望台」に到着しました。今日は残念ながら保田の漁港と金谷港が雲の切れ目にうっすらと見えるくらいでした。

ここから尾根つたいに歩き、やっと鋸山山頂に到着しました。この辺りから雨脚が強くなり辺りは真っ白です。昼食を兼ねての小休止もなくそのまま来たルートに戻り分岐を石切り場方面に向かいました。石切り場の山肌を見上げるとその迫力は圧巻です。皆さんがよく見る「地獄のぞき」や「大仏」「百尺観音」のある日本寺から保田漁港方面に向かう予定でしたが、ルート変更してよく整備された「関東ふれあいの道」を下り、もと来た浜金谷の駅を目指すこととなりました。

途中「観月台」にて、石井さんからのビールと山本さんから最中を出していただき一息。冷たいビールが美味しく、最中の優しい甘さが体に染みしました。

5月に新潟県の松平山に登った親子が遭難したニュースがありましたが、今回のハイキングも途中から雨脚が強くなり、幹事さんのご判断で計画変更し、安全なルートで無事下山することができました。

打ち上げ会場も当然ながら変更になり急遽探して、金谷東京フェリーのり場のすぐ向かいの「金谷食堂」にて盛大に行われました。地魚フライの盛り合わせ 地魚の刺し身、地魚のなめろう等おいしい海の幸を堪能しました。ここで終わらないのがハイキング同好会です。電車を待つ間のホームから二次会の始まりです。鋸山山

頂で出て来る筈のつまみやお酒がまたおいしいこと。心地の良い疲れと、おいしい魚とお酒。やはり苦勞して初めて味わえる楽しみです。

ハプニングがあった時ほど記憶に残るものです。晴れた日にもう一度トライしてみたいと思うコースでした。